

出題意図 2026年2月期

I. 日本近世における城下町の都市構成に関する設問

【出題意図】

本設問は、日本近世に形成された城下町を題材として、伝統的都市構造の基本的特徴を正確に理解しているかを確認することを目的とする。図面読解を通じて、城・武家地・町人地・寺社地などの空間配置とその役割を把握し、さらに近代以降の土地利用変化や歴史的環境保全制度へと議論を発展させられるかを重視する。

- (1) 城下町の空間構成要素（城、武家地、町人地、寺社地など）および都市計画上の特徴（身分秩序、職住分離、防衛性など）を、図と用語を対応させながら正確に理解しているかを問う。あわせて、城下町における代表的施設や街区形態の特徴を説明できるかを確認する。
- (2) 明治期以降における城下町の土地利用変化について、近代化・産業化・交通整備といった要因と結びつけて説明できるかを問う。歴史的都市が固定的なものではなく、時代とともに変容してきたことを理解しているかを確認する。
- (3) 現在まで良好な歴史的環境を維持している都市の事例を念頭に、日本における歴史的環境保全のための都市計画制度を理解しているかを問う。制度名の暗記にとどまらず、それぞれの制度の目的や内容を説明できるかを重視する。

II. 公共プロジェクト評価と費用便益分析に関する設問

【出題意図】

本設問は、公共プロジェクト評価における基本的な考え方について、因果効果の測定と費用便益分析の両面から理解しているかを確認することを目的とする。前半では、政策効果をどのような比較方法で捉えるべきかという実証的思考力を、後半では、費用便益分析の代表的指標とその解釈を通じて、理論的・実務的判断力を測る。

- (1) 環状道路整備による商業地促進効果を例に、政策効果をどのような反実仮想と比較して評価すべきかを理解しているかを問う。単純な前後比較や他地域比較の問題点を踏まえ、適切な効果測定の考え方を論理的に説明できるかを重視する。
- (2) 公共プロジェクト評価の代表的手法である費用便益分析について、基礎的な概念・指標・判断基準を正確に理解しているかを問う。
 - (2-1) 純現在価値および費用便益比といった代表的指標を理解し、それぞれを数式として表現できるかを確認する。
 - (2-2) 費用・便益が時間を通じて発生する状況を踏まえ、割引現在価値の考え方と評価基準を正しく説明できるかを問う。

(2-3) 複数のプロジェクト案を比較する際に、純現在価値と費用便益比のどちらを用いるべきかについて、評価目的との関係から論理的に説明できるかを問う。

(2-4) 費用便益分析が持つ限界や課題について理解し、公共プロジェクト評価における留意点を自分の言葉で述べられるかを問う。

Ⅲ. 都市交通混雑に対する数量規制と価格規制に関する設問

【出題意図】

本設問は、自動車交通混雑という都市問題を題材として、経済学および交通政策の基本概念を用いて、問題の構造理解から政策手段の評価・提案までを一貫して考えられるかを確認することを目的とする。特に、負の外部性の理解、数量規制と価格規制の比較、実際の制度への接続、さらに複数手法を組み合わせた政策設計能力を重視する。

(1) 交通混雑がもたらす社会的損失を、負の外部性という概念を用いて説明できるかを問う。

(2) 数量規制型交通政策について、その仕組みを論じられるかを問う。

(3) 価格規制型交通政策について、その仕組みを論じられるかを問う。

(4) 二つの規制を併用した交通政策を提案し、それぞれの長所をどのように活かし、短所をどのように補完するかを論理的に説明できるかを問う。